



吉澤和徳准教授が 2017 年イグ・ノーベル賞を受賞

(概要)

人々を笑わせ、そして考えさせた業績に対する「イグ・ノーベル賞」が米国東部時間 9 月 14 日 (木) にハーバード大学で発表され、農学研究院の吉澤和徳准教授らの研究グループが「生物学賞」を受賞しました。

受賞理由は、「洞窟棲昆虫におけるメスの陰茎 (ペニス) とオスの膣 (ヴァギナ) の発見」です。吉澤准教授らは、チャタテムシの一属の交尾器がオスとメスで逆転していることを発見しました。チャタテムシは、シラミに近い微小昆虫です。今回の研究対象となったトリカヘチャタテ属は、メスがペニスのような交尾器を持ち、オスに挿入することで交尾を行います。

2008 年と 2010 年には、電子科学研究所所長の中垣俊之教授 (2010 年当時は、公立はこだて未来大学在籍) が粘菌の研究でイグ・ノーベル賞を受賞しており、吉澤准教授は、本学として 2 人目の受賞となります。

【吉澤准教授のコメント】

受賞を大変光栄に思います。僕らがイグ・ノーベル賞をいただきましたが、大当たりの宝くじに当たったようなもので、研究のそもそものきっかけは他の分類学者や形態学者が行ってきたような、未知のものを掘り起こし記載するというごく普通のもので、そういう意味では、分類学、形態学が賞をもらったと考えてもいいと思っています。

(参考 : 2014 年のプレスリリース)

https://www.hokudai.ac.jp/news/140418_pr_agr.pdf

お問い合わせ先

北海道大学大学院農学研究院 准教授 吉澤 和徳 (よしざわ かずのり)

TEL : 011-706-2424 FAX : 011-706-2424

E-mail : psocid@res.agr.hokudai.ac.jp